

調査機関:北九州商工会議所

調査期間:令和8年5月25日～6月19日

調査方法:郵送・メール・ヒアリングによるアンケート

発表日:令和8年7月3日(予定)

回答数:447社(製造業103社・非製造業344社)/759社(58.9%)

※大規模企業は従業員300人以上、中規模企業は従業員100～299人、小規模企業は従業員99人以下と設定

8割超企業にマイナス影響

●マイナスの影響を受けている理由

- (1位) 原材料・資源等の調達コスト上昇 (2位) 重油・ガソリン等エネルギーコストの上昇
- (3位) 物流の混乱に伴う調達遅延

●受けている影響への対応策を取っている企業は47.3%(今後、対応策を取る予定企業を含む)

●影響に対して取っている対応策(対応策を取る予定を含む)

- (1位) 原材料や部品等の調達先の多様化 (2位) 在庫の積み増し
- (3位) エネルギーや原材料等のコスト上昇に備えた運転資金の確保

●今後マイナスの影響を受けると予測している企業は86.1%

●国・県・市に求めている支援

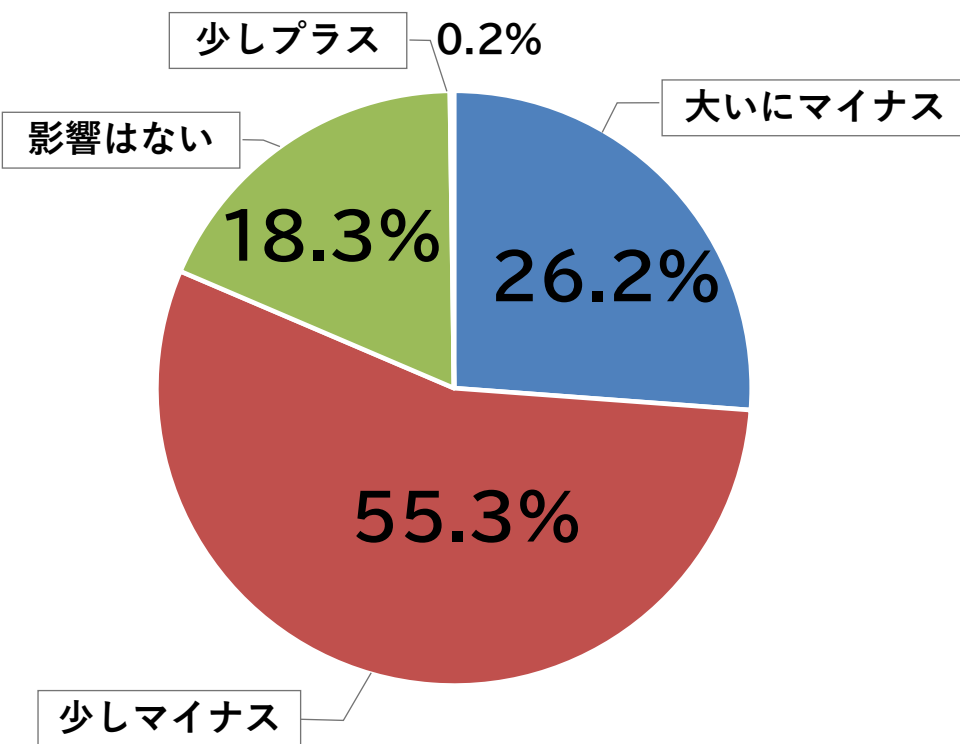
- (1位) 流通の目詰まり解消 (2位) 新たな補助金・助成金制度の創設や拡充
- (3位) 新たな融資制度の創設や拡充

中東情勢の緊迫化による影響について(付帯調査Ⅱ)

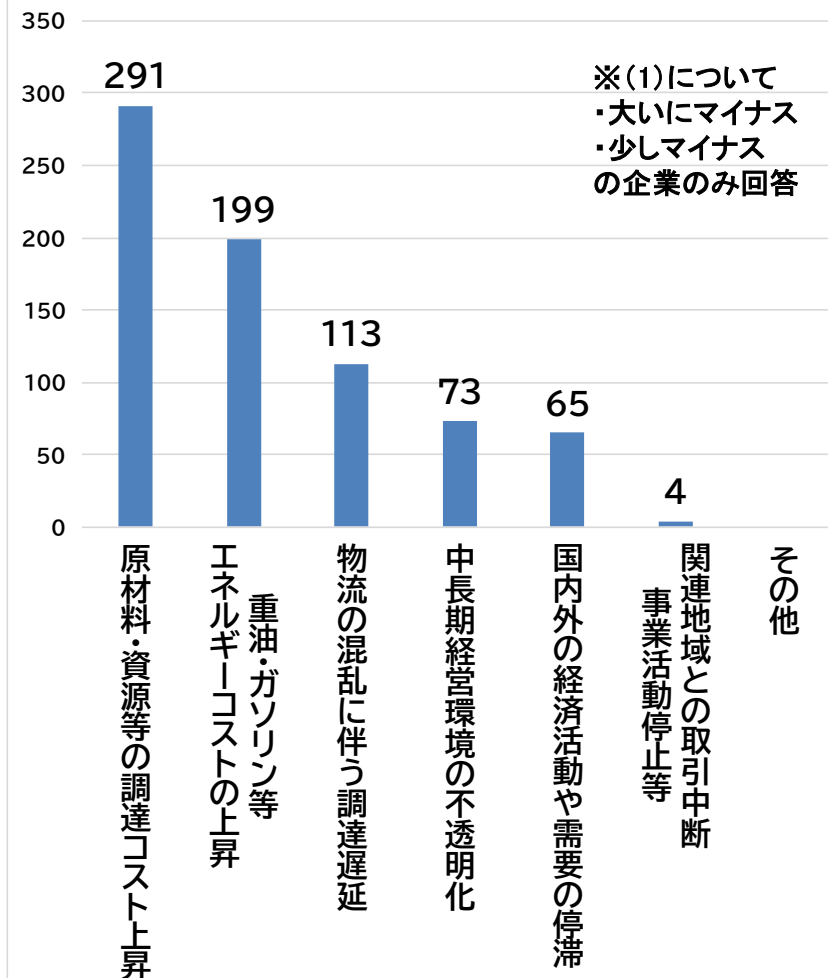
(1) これまでに中東情勢の緊迫化は
貴社にどのような影響を与えていますか？

(2) マイナスの影響を受けている理由は
何ですか？(複数回答可)

中東情勢緊迫化の影響



(社) マイナスの影響を受けている理由



中東情勢の緊迫化による影響について(付帯調査Ⅱ)

影響(企業の声)

業種	規模	事業内容	影響
製造	小規模	自動車修理 自動車部品販売	・仕入れ価格の高騰 ・塗料(シンナー)、エンジンオイルが不足し、一部業務が停滞している
製造	中規模	複合肥料製造	・海外原料の調達困難な状況が続いている ・包装材をはじめとした石油製品など原材料費の高騰が止まらない状況
製造	小規模	金属加工	・材料費の高騰により採算が取れず経営が困難
小売	大規模	ショッピングセンター	・物流の混乱に伴う調達遅延の影響で設備工事の日程が読めない ・納期の遅れにより新商品開発が見送りになっている ・テナントにおいては靴製品の接着剤、美容室のカラー剤が不足
運輸	大規模	利用航空運送事業 倉庫業	・ナフサ不足等の影響で、取引先が出荷制限を行っているため、取引数が減少している
運輸	小規模	一般貨物運送業	・軽油、ガソリンをタンクローリー単位で購入してるが、市場単価より高い単価となっている

中東情勢の緊迫化による影響について(付帯調査Ⅱ)

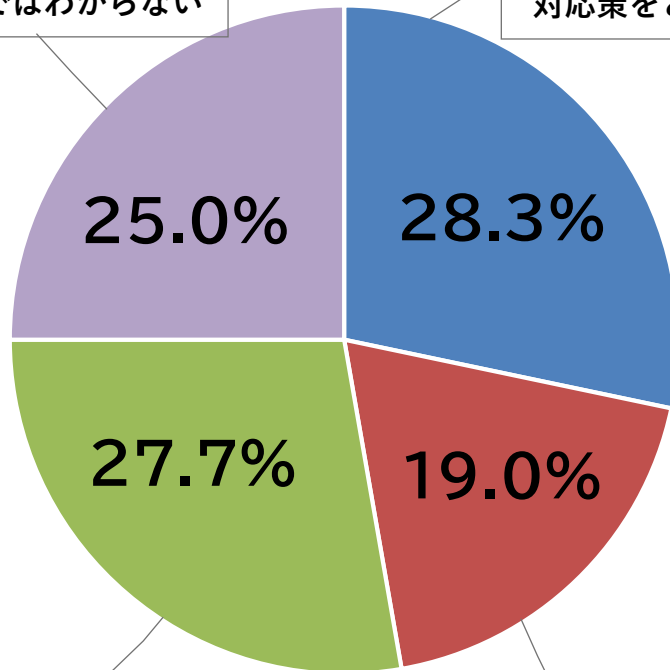
(3) 受けている影響に対して対応策をとっていますか？

n=364

影響に対して対応策をとっているか

現時点ではわからない

対応策をとっている

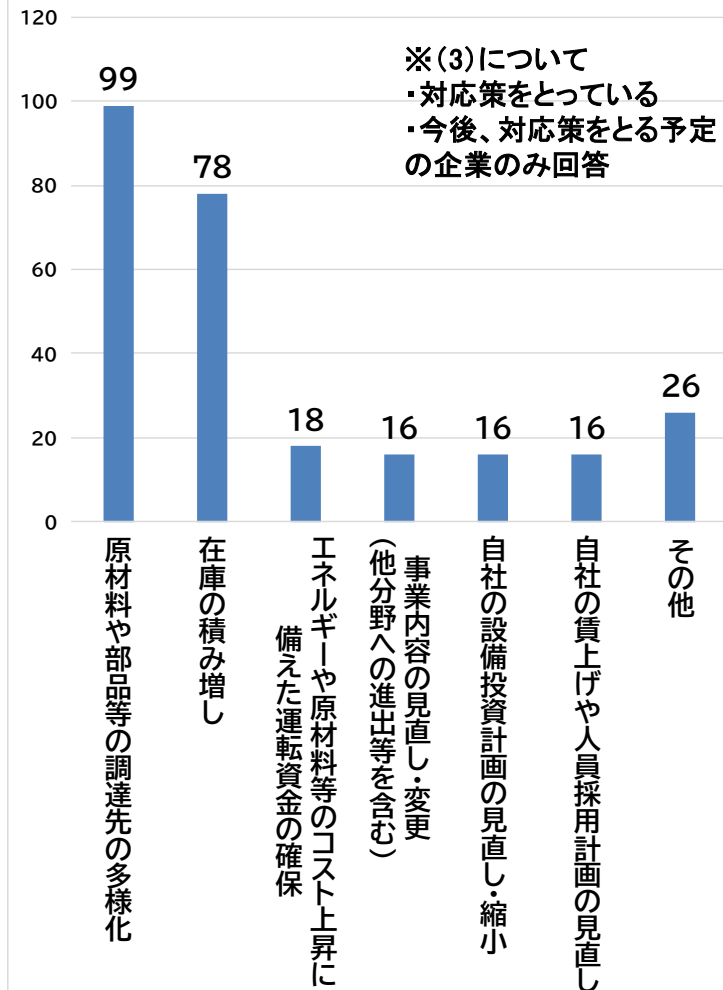


特に対応策はとっていない

今後、対応策をとる予定

(4) どのような対応策をとっていますか
またはとる予定ですか？

(社) としている対策(予定含む)



※(3)について

・対応策をとっている
・今後、対応策をとる予定
の企業のみ回答

中東情勢の緊迫化による影響について(付帯調査Ⅱ)

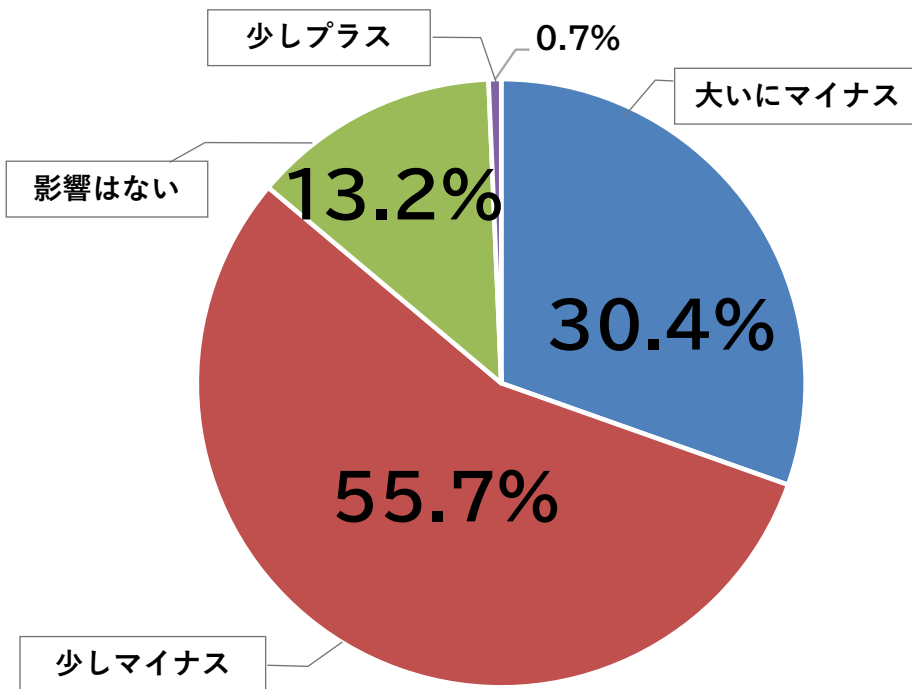
対応策(企業の声)

業種	規模	事業内容	対策
製造	小規模	建築金物	・ <u>受注時と建材資材購入時の価格ギャップ</u> や資金繰りに苦しんでいる。工事代金の一部を前受金とする、工事期間中の材料価格上昇分も請求できるなど契約に工夫したい
サービス	小規模	宅配	・仕入量に制限がかかっており、 <u>複数社から仕入れる</u> ようにした
小売	小規模	自動車部品販売	・仕入れに影響するため、 <u>在庫の積み増し</u> を行っている
小売	小規模	ガソリン 石油化学製品	・ <u>価格転嫁</u> による利益確保を行っている
建設	小規模	建築・防水工事	・ <u>代替品、内容変更で対応している</u> が限界がある

中東情勢の緊迫化による影響について(付帯調査Ⅱ)

(5) 今後の貴社の影響について
どのように考えていますか？

中東情勢緊迫化の影響予測



(6) 国・県・市等にどのような支援を
求めていますか？(複数回答可)

